

教育目標	将来の夢や目標に向かってチャレンジする 心豊かでたくましい生徒の育成		
校 訓	自 主	健 康	友 愛
めざす生徒像	自分で考え 実行する生徒	心身ともに健康で たくましい生徒	思いやりのある 心豊かな生徒
	【スローガン】 心と心をつなぐ VOLUNTEER		
教育方針	<p>自分に適した卒業後の進路を自己決定し、自己責任の取れる生徒を育てる。 卒業後の生き方を考え、将来の夢や希望、目標の実現に向けてチャレンジする生徒を育てる。 卒業後の進路を保障する確かな学力をつける。 「VOLUNTEER」精神で実践・実行し、自分に自信のもてる生徒を育てる。 国際社会で活躍できる人材育成の基礎づくりをする。(表現力・コミュニケーション能力・情報活用能力等の育成)</p>	<p>基本的な生活習慣が身についた、心身共に健康な生徒を育てる。 自分で自分の身を守る生命を大切にする生徒を育てる。 困難を乗り越え、粘り強く最後までやり遂げる忍耐力のある生徒を育てる。 体力・運動能力を高め、生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎を培う。</p>	<p>相手の立場を考える思いやりのある生徒を育てる。 互いに認め・助け・励まし合う集団づくりを進める。 集団や社会の一員としての自覚ある言動が取れる生徒を育てる。 様々な体験活動を通して、思いやりの心や郷土を愛する心、勤労観・職業観、社会奉仕の精神、倫理観、規範意識、社会性などを養う。 人権意識が高く、実践力のある生徒を育てる。 文化芸術活動を通して豊かな人間性をはぐくむ。</p>
指導の重点	<p>将来の夢や希望の実現につながる進路選択を支援する教育活動の充実を図る。 卒業後の進路保障の基盤となる確かな学力の定着を図る。 教育活動全体を通して「VOLUNTEER」の定着を図るとともに、自己決定の場を設定する特別な教育的支援を必要とする生徒に、個に応じた指導・支援を行う。 文言変更</p>		
職 員 像	<p>香東中学校の一員としての強い連帯感を基盤にした共通理解・共通実践を通して、全職員が一丸となって教育目標の達成を目指す。</p>		
	<p>生徒に夢や希望を与える魅力ある人生の先輩</p>		
	<p>教育者としての誇りや情熱、使命感をもち、生徒や保護者、地域、広く社会から信頼される教員 生徒に将来の夢や希望をもたせる進路指導・生き方指導のできる職員 「教師は授業で勝負する」をモットーに、生徒に確かな学力(基礎的な知識・技能、思考力、創造力等)をつける教員 生徒に愛情をもち、生徒とのかかわりを大切にし、生徒の個性を認め、良さを見つけ伸ばす職員 常に学び続ける向上心をもち、個性を發揮しながら組織の一員として学校の活性化を図る職員 豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法、対人関係能力、コミュニケーション能力などを備えた職員</p>		

平成 20 年度は、前年度の学校経営方針を継続します。保護者の皆様には、学校経営方針を十分にご理解いただき、学校教育目標等が達成されるよう、ご支援・ご協力くださるようお願いいたします。

なお、「教育目標」などにこめられた意味や思いは次のとおりです。

【教育目標】 「将来の夢や目標に向かってチャレンジする心豊かでたくましい生徒の育成」

中学校教育は義務教育の最後を締めくくるものです。そこで、「将来の夢や希望を抱き、これからの生き方や就きたい職業について具体的な目標をもち、それらの実現をめざして日々チャレンジする身体と精神の両面でたくまさを身につけ、香東中学校を卒業して行ってほしい」との願いをこめています。

【校訓】 「自主・健康・友愛」

「学校沿革史」によると、この校訓は昭和 42 年 4 月に制定されたようです。玄関前にある大きな石碑にも刻まれており、約 40 年の長きにわたって生徒や教職員はじめ、多くの関係者に親しまれてきたものと思われまます。「自主」は「知育」、「健康」は「体育」、「友愛」は「徳育」をさしてあり、「知・徳・体」の教育の充実をめざしたすばらしい校訓です。今後もこの校訓をしっかりと継承していかなければならないと思います。

なお、玄関前の石碑の背面には、「ここに校訓を郷土の後輩に贈る 昭和 47 年 1 月 19 日 元香川県教育委員 前香川県会議員 吉田一三」とあります。

【めざす生徒像】

校訓「自主・健康・友愛」を三本柱ととらえ、それぞれについて生徒にとって分かりやすい文言にしました。

【生徒のスローガン】

「教育目標」や「校訓」、「めざす生徒像」を踏まえて、平成 18 年度に生徒が学級や生徒会で話し合い、言いやすく親しみやすいスローガン「心と心をつなぐ VOLUNTEER」を考えてくれました。

なお、「VOLUNTEER」とは、「人に言われなくても自分から進んで行動する」という意味です。

【教育方針】

「次のような生徒を育てたい、卒業後に次のような人生を歩むことのできる基礎づくりをしたい」との願いをこめ、校訓「自主・健康・友愛」の三本柱で分類しています。

〔自主＝知育〕

大きな夢や希望を抱き、自分で選んだ進路に自信と責任をもって中学校を卒業して行ってほしい。

希望の進路に進めるよう、確かな学力をつけさせたい。

人に言われなくても自分から進んで考え、発言し、行動する生徒になってほしい。

将来の高松・香川・日本を支えるような人材に育ててほしい。

〔健康＝体育〕

規則正しい生活を送って、心も体も健康で、強くたくましい生徒になってほしい。

危険を予知し、臨機応変に判断して自分で自分の身を守る生徒になってほしい。

少々苦しくても、ねばり強く最後までやり遂げるたくましく忍耐力のある生徒になってほしい。

体力や運動能力をつけてほしい。

生涯にわたってスポーツに親しみながら、健康で豊かな人生を送ってほしい。

〔友愛＝徳育〕

心優しく思いやりのある生徒になってほしい。

社会の一員としての務めや義務を果たす立派な社会人になってほしい。

働くことを通して社会に貢献できる人になってほしい。

人権を尊重する人になってほしい。

文学や音楽、美術などの文化芸能にも親しみながら豊かな人生を送ってほしい。

【職員像】

「教育は人なり」と言われるように、生徒に直接かかわりながら指導に当たる教員は、学校教育の成否の鍵をにぎる大きな要素の一つです。また、変化の激しい時代にあって、教員にはこれまで以上に様々な資質能力が期待されています。そこで、保護者や地域の方々による学校評価(外部評価)でいただいた本校の教員に対する評価も踏まえ、また教職員として初心に返るという意味もこめて、職員像を示しました。

少子・高齢化、人口減が進む中、これまで以上に若者への期待が大きくなっています。子どもにとって保護者や家族の働く姿が見えにくくなっている今日、学校の職員は生徒にとって最も身近に見られる働く大人ではないかと思えます。このことから、学校という職場で職員が、人生の先輩として生き生きと生徒に接する姿、学校職員としての仕事に生きがい、やりがいを感じながら働く姿を見せ、そのことを通して生徒に将来の夢や希望を抱かせることが大切だと考え、「生徒に夢や希望を与える魅力ある人生の先輩」を掲げました。

その他については、教育目標や校訓、教育方針を達成するために必要と思われる職員像を精選したものです。